



β版

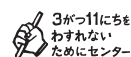
# わすれん! 録音小屋

ふたりひと組で

震災にまつわる物語を残していく

「わすれん! 録音小屋」

当時のこと、そこからの暮らし、いまの気持ち。  
これまで聞けなかったこと、話したかったこと。  
あなたの家族や友人などに聞いてみませんか。  
聞き手と話し手のふたりひと組で、録音して残し、  
後世に伝えていく「3がつ11にちをわすれないため  
にセンター(わすれん!)」のプロジェクトです。



smu せんだいメディアテーク  
sendai mediatheque



# わすれん! 録音小屋

β版

## 録音小屋とは？

- 録音小屋は、ふたりで入る小さな録音室です。
- どなたでもお気軽にご利用いただけます。
- ふたりひと組で小部屋に入り、震災にまつわるお話を録音していきます（最大60分間まで）。
- 録音されたお話は、後世に伝えていくことを目的にわすれん!に保存され、ウェブなどで公開されます。
- 音声の公開の可否については、録音後にご相談いただくこともできますので、安心してご利用ください。
- ご希望の方には、録音したデータを後日お送りします。

## 利用するには？

### 【受付場所】

せんだいメディアテーク  
2f 映像音響ライブラリー 受付カウンター

### 【受付時間】

火曜日～金曜日 10:00-18:30  
土曜日・日曜日・休日 10:00-16:30

お休みは、仙台市市民図書館に準じます。詳しくはお問い合わせください。

- ご利用の際は、受付カウンターに直接お越しください。
- 空き状況等のお問い合わせは、下記までご連絡ください。

### 【お問い合わせ】

せんだいメディアテーク企画・活動支援室  
tel : 022-713-4483

## なにを話す？

お話のつながりとなる質問例

震災が起こったあとどうしましたか？

震災当時何を食べましたか？

どれくらいの時期に仕事(学校)を再開しましたか？

大変だったことはありますか？

当時はげみになったことはありますか？

震災から今までどのような生活を送ってきましたか？

震災前と変わったことはありますか？

わすれたくないことはありますか？

わかりあえないと感じることはありますか？

わかりあうためには何ができるとおもいますか？

何か決断をしましたか？

大切にしてきたものがありますか？

最近、考えるようになったことはありますか？

これからしてみたいことは何ですか？

## 録音の流れ

最大60分間録音できます。

### 利用のご案内

プロジェクトに関する大切なご案内

### なにを話す？

質問例を参考に何を話すか考えます

### お話を録音

ご自由に話してください

## 録音されたものはどうなるの？

みなさんに録音していただいたお話をウェブで公開しています。

<https://recorder311.smt.jp/series/rokuongoya>



## 3がつ11にちをわすれないためにセンター

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 せんだいメディアテーク  
tel 022-713-4483 / fax 022-713-4482  
mail: office@smt.city.sendai.jp <https://recorder311.smt.jp/>

3がつ11にちをわすれないためにセンター（通称:わすれん!）は、せんだいメディアテークが、市民、専門家、アーティストと協働し、震災とその復旧・復興のプロセスを独自に記録・発信していくため、2011年5月3日に始めたプラットフォームです。参加者は、個人個人が体験した震災を映像、写真、音声、テキストで記録します。それらの記録は、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、さまざまな形で活用されています。

- 地下鉄 南北線勾当台公園駅から徒歩6分/東西線大町西公園駅から徒歩13分
- バス 仙台市営バス 仙台駅前-60番（仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前）のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き（系統番号がJまたはXで始まるバス）で約10分、メディアテーク前下車。

